スロットルキット
TYPE－EVO
取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。

■展開図

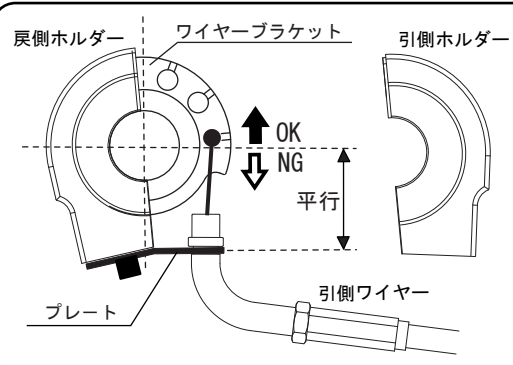
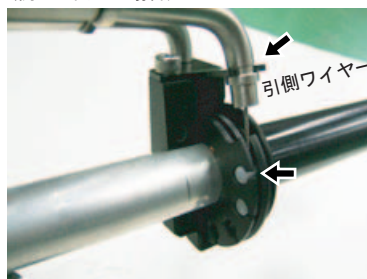
■構成商品表

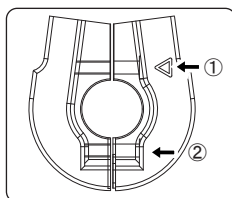
No	品　名	個　数
①	スロットルホルダー/引側	1
②	スロットルホルダー/戻側	1
③	スロットルパイプ	1
④	ワイヤーブラケットセット（※1）	1
⑤	アジャスタブルワイヤーセット（引・戻）	1
⑥	ワイヤーホルダー	1
⑦	グリップ（左右セット/※2）	1
⑧	キャップボルト M5X20	2
⑨	キャップボルト M5X10	1

※1：車種別キットには2種類付属
※2：グリップ長は115mmです

■取り付け手順

1）スロットルパイプにワイヤーブラケットを差し込みます。(お好みのサイズを選択します)
2）引側と戻側のそれぞれのワイヤーをノーマワイヤーが通っていた場所を通し、車体のスロットルボディ側に仮り組みします。　(長さは車種別キットの取扱説明書を参照してください)
3）1）で組み立てたスロットルパイプASSYをハンドルに差し込み、戻側ワイヤーのタイコをワイヤーブラケットに引っ掛けます。　(タイコ取り付け位置は車種別キットの取扱説明書を参照してください)
4）戻側ホルダーにプレートで戻側ワイヤーを固定します。
5）引側ワイヤーのタイコをワイヤーブラケットに引っ掛け、プレートに引っ掛けます。(下図の状態)
(タイコ取り付け位置は車種別キットの取扱説明書を参照してください)
6）引側ワイヤーのタイコがプレートと平行となるスロットルパイプの中心線より外側になるように引側ワイヤーの遊びを調整します。　(下図参照)
※車体のスロットルボディ側を先に調整し、ワイヤーのアジャスト部で微調整を行います。
7）引側ホルダーを取り付け、ボルトで取り付けます。(下記取り付け注意事項を参照してください)
8）戻側ワイヤーの遊びを調整します。
※車体のスロットルボディ側を先に調整し、ワイヤーのアジャスト部で微調整を行います。
※調整できない場合はワイヤーブラケットのタイコ取り付け位置を変更してください。
9）ホルダーの各ボルトを本締めします。

●グリップ側より見た図（例：下出しの場合）

●スイッチ側より見た写真
(例：上出しの場合)

■取り付け時の注意事項

●ホルダー固定手順：△（三角）ロゴのある側①を先に締め付けて取り付けてください。
(締め付けトルク：5.0Nm)
締め付け不良は、スロットルパイプの作動不良につながる恐れがあります。

■ワイヤー遊び調整範囲

●アジャスター部

⚠ 注　意

ホルダー部：最大10mm

10mm

⚠ 警　告

● ご使用ごとに各部を点検し以下の症状が見られた場合は直ちにご使用を中止し、新品と交換してください。
※ スロットルホルダー本体に変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
※ ワイヤーに変形・損傷・磨耗・欠落・腐食がある場合
● 商品の加工は施さないでくだ さい。(強度が落ちる恐れがあります)
● クレームに関しては商品に不良があった場合に限り、お買い上げ後1週間以内を限度として修理及び交換させていただきます 。 但し、商品以外の損失・損害についてはその責を負いかねますのでご注意ください。

作業後の点検項目

● スロットルを開閉し作動確認をしてください。
(動きの悪い場合は、再度組み直してください)
● スロットルを開閉しスロットルホルダーが動かないことを確認してください。
(動いてしまう場合は、再度組み直してください)
● ハンドルを左右に動かし作動確認をしてください。
(ワイヤーの動きが悪い場合は、ワイヤーの取り回しを変更してください)
● スロットルボディ(キャブレター又はインジェクション)が全閉・全開になってることを確認してください。
(全開・全閉しない場合は、再度組み直してください)
● グリップが動かないことを確認してください。
(動いてしまう場合は、接着剤を使用し取り付けてください)
(接着剤は、接着剤に添付されている使用説明書に従って使用してください)
(グリップ取り付け後は、接着剤が乾くまで数時間放置してください)
● スロットルの遊び量を確認してください。
(1.5mm～3.5mmほどに調整してください)
● ワイヤーの張り調整は確実に行ってください。
(戻側は特に注意してください/作動不良の原因になります)

⚠ ご 注 意

● 作業を行う際は、必ず水平な場所で車両を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
● ノーマル右ハンドルスイッチが、スロットルとスイッチが一体式の場合は、薄型スイッチ(別売)等を使用してください。
● ワイヤーは無理にねじったり強く折り曲げないでください。
(変形・損傷をうけたワイヤーは作動不良の原因になります)
● ノーマルのスロットル開閉度より狭くなり、よりシビアなスロットル操作が必要になる場合があります。
(使用される方ご自身で、慣れるまでは全開走行等行わないでください)
● ワイヤーの各アジャスト部は最大調整範囲を超えて使用しないでください。
(破損・変形・作動不良の原因になります)
● 定期的な点検及び分解清掃・給油は必ず行ってください。
(作動不良の原因になります)
● 転倒などにより損傷・変形したままでの使用はしないでください。
● ワイヤーブラケットの径を大きくすると開度が狭くなると同時にスロットル開閉が重くなります。

■スロットルパイプ対応表

ボディサイズ	スロットルパイプ径					
スモール	φ36	φ38	φ40	φ42	φ44	φ46
ラージ	φ48	φ50	φ52	φ54	―	―

本製品の内容は平成25年07月現在のものです

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください

〒470-0117　愛知県日進市藤塚七丁目５５番地
TEL 0561-72-7011（代）　FAX 0561-72-7012
ホームページ：http://www.acv.co.jp
E-メール：　info@acv.co.jp
130710KIT02

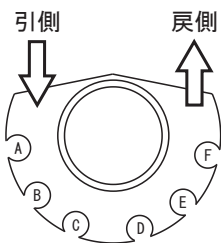
スロットルキット
車種別専用
取扱説明書

HONDA
CBR600R 05-12

ご使用になる前に必ずお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。

■取り付け手順

① 外装等を取り外し、純正スロットルホルダーを取り外します
② スロットルボディ側にワイヤータイコを引っ掛け、ワイヤーを純正ワイヤーと同じ場所を通します
※ワイヤーには引きと戻しがあります(下図参照)
③ 下図を参照して使用するスロットルパイプの大きさに合わせてスロットルパイプにワイヤータイコを取り付けます
④ スロットル側を組み立てます
⑤ ワイヤーの遊び調整をして、取り外した外装を組み立てます

※スロットルホルダーは純正と同様にワイヤーがマスターシリンダーの上側を通るように取り付けます

■スロットルワイヤータイコ取り付け位置

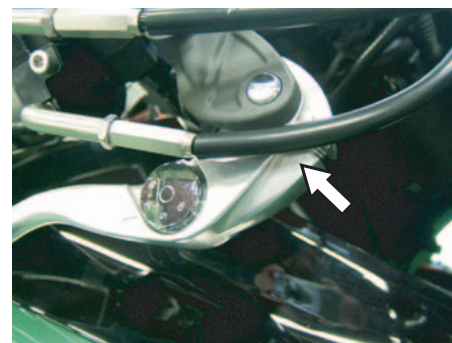
φ36/38/40　ＡとＢ　(φ36/38にはFの位置に穴はありません/5穴)
φ42/44/46・　ＡとＣ

上記の位置を基準に取り付けを始めてください。
※取り付け・調整できない場合はタイコの取り付け位置を変更してください

■ワイヤー遊び調整範囲

●専用ワイヤー

■専用ワイヤー品番
引側：1060271
戻側：1060272

■注意事項

※ハンドルを右にいっぱいに切った時にワイヤーがブレーキレバーの上にのってしまう場合には、タイラップ等でワイヤーを固定してください。
のったまま左に切るとワイヤーが無理に引っ張られ大変危険です。

本製品の内容は平成24年12月現在のものです

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください

〒470-0117　愛知県日進市藤塚七丁目５５番地
TEL 0561-72-7011 (代)　FAX 0561-72-7012
ホームページ・http://www.acv.co.jp
E-メール・　info@acv.co.jp

121220KIT01